

(1) 愛知県児童総合センター事業計画

ア、事業の実施

愛知県児童総合センターにおいて、児童の健全育成のための遊びや学びの場と機会を提供するため次の事業を実施する。

	事業名	開催回数	募集定員	参加対象
体験・育成	特別企画	年 3回	—	入館者
	発見！あそびの基地	年 3回	—	入館者
	集団活動事業	年 4回	各10～15人	希望する児童等
	屋外環境づくり事業	不定期	各10人	希望する児童等
	他団体等との共同事業	連携団体と協議のうえ、決定	連携団体と協議のうえ、決定	希望する児童等
開発・調査	遊具・あそびのプログラム開発	年 1回	—	—
	アンケート等の実施	原則、秋期、特別企画開催時	—	入館者
	その他の事業	随時	—	—
養成・研修	愛知県児童館連絡協会の事務局・役員としての参画	総会1回・役員会7回 研修会9回	—	市町村児童館職員等
	市町村職員及び児童館職員に対する研修	年 6回	—	市町村児童館職員等
	子育て支援者等のボランティア研修	年 1回	10～15人	子育て支援者または子育て支援ボランティア希望者
	その他の事業	随時	—	—
普及・啓発	あそびの相談事業	随時	—	市町村児童館職員等
	移動児童館事業	年20回	—	地域の児童や親子
	県内市町村の全児童館の交流大会	年 1回	—	市町村児童館職員等
	子育てひろば（あのねっとのへや）の開設	原則常時	—	入館者
	小さい子どもたちと親等のための遊びのプログラムの開発と提供	年30回程度	各15組程度	希望する未就園児とその親

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
普及・啓発	親子で遊ぶクラブ活動	年 1クール (週1回・5週連続)	10組程度	幼児とその親
	お父さん応援プログラム	原則第3日曜日	各15組程度	父親とその子ども
	子育て支援の基盤づくり	年 2回程度	—	入館者
	あそびのプログラム集の発信	年 1回	—	市町村児童館職員等
	その他の事業	随時	—	—

イ、有料施設利用者数

施設の利用者数は、次のとおりとする。(入場料免除者を含む)

施設名	概要	利用者数
愛知県児童総合センター	1F チャレンジタワー、あそびのスタジオ1、あそびのスタジオ2、とことこのへや(幼児コーナー)、体験ゾーン「こどもの森」、発見ゾーン「あそびラボ」、ロボットシアター、水のひろば、アトリウム 2F チャレンジタワー、あそびステーション、キッチンスタジオ、あのねっこのへや(子育てひろば)、えほんのへや、発見ゾーン「音・光」、コラボラボ(コラボレーションコーナー) 展望フロア	380,000人

ウ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。